

平成28年度事業報告

平成28年4月1日～平成29年3月31日

特定非営利活動法人フォレストワン

I 事業実施の成果

今年度も大学卒業生の就職先が決定し4月から働くことで、納税や社会保険料など納付し、働く社会人として活躍できる支援が出来てきました。

学生にとっては毎年就職活動は初めての挑戦であり、心身とも充実することで、成果が得られる一大イベントとなります、将来の自分の生き方や生活に直結することとなります。

将来の自分の生き方や、生活に直結するため、成果を得るまでは苦難の道となりました。

一人でも多くの学生が、自分の希望に沿った就職先確保に向け、就活力3倍UPを目標に支援してきました。

1 求職者の就職活動支援・相談援助事業について

(1) 大学4年生への支援 (H29.3卒業生)

平成27年12月から14名の支援を行い、応募書類から面接対応など採用試験の支援を行い内定に向け、貢献してきた。

28年4月からは就職試験が本格的に開始され、次試験へ通過か祈られるかで、就活意欲の浮き沈みがあり、精神的に落ち込まぬよう、意欲を高揚させるため、支援してきた。

今年は5月から 内々定が開始6月末までにほとんどの就活生が内々定を得た。

今年度は6月大企業の就職解禁なので、そこに目標を定め企業の内々定を得る支援をし結果、6月初旬に内々定をいただきました。

大企業に応募した学生も多く、厳しい就職戦線でしたが、ほぼ希望通り決まりました。中には次の高い目標に向かって7月も活動したところ、希望通り内定を得た学生もいた。

(2) 大学3年生への支援 (平成30年3月卒業)

今年度は、セミナーを週一回定期的に開催し、基本的事項は、集団での学習をしました。また、(木)は自主的ゼミ形式にし、個別相談支援時間を確保した。

入塾者が国立大学生が多く、東京や大阪希望で、企業も一部上場であり、エントリーシートの内容も、書類選考が通過できるものにする為、自己アピールなど、個性ある、自分らしいES作成に務めた。

① セミナーの実施

- イ 何から始めたらよいのか就職活動
- ロ 履歴書・写真・資格・交通費・服装など金銭の準備
- ハ ゾウとキリンの自己アピール・自己紹介
- ニ 志望の動機作成方法&作成作業
- ホ 長所・短所が面接で話せるための自己認識
- ヘ カツ丼とラーメン 自分は自分
- ト グループディスカッション法、模擬グループディスカッション(数回)
- チ 100の面接質問(1～100まで)個別回答例数回実施
- リ グループ面接法 模擬面接
- ヌ 塾生みんなで情報交換(月1回程度)
- ル 個人面接 対策(一・二次・三次・最終など)模擬面接

② 個人面接質問対策

過去の面接質問を参考に、100の面接質問などを活用し、グループや個人面接を行い、予想質問事項に如何に回答するかについて面談しながら、考えてきた。

毎年学生は初めての経験なので、緊張の中で、自分らしい自分が伝えられず、最初は二次まで進めなかったものの、求人が多い状況の中で、二次・最終へと進んで来た。

③ 提出課題対策

Esの課題作成や、採用試験にプレゼン科目、GDがあり、作成並びに支援した。

特に3月はESの作成に重点を置き、大企業の応募書類通過を図った。

面談やセミナーで支援出来る時間には限界があるので、メールの送受信で支援を行

④ い、応募書類作成に向け供に考えたことで、個性のある応募書類作成ができたと思っている。

⑤ 電話による相談支援

面談は週1回程度しかできない状況のため、相談は夜の電話で意見交換や相談支援し、内定確保に向け活動した。

⑥ 心のケア

採用選考で祈られると自己否定されたと感じ、就職意欲が低下する傾向にあるので、内定を得るまで、意識を低下させないよう、むしろ高揚させるために相談支援を行ってきた。

⑦ 内々定

今年度は売り手市場と言われてるが、大手希望者にとっては、毎年の状況と変化は無く、厳しい現実がある。6月が試験開始なので、力を付ける為に、日々本人の努力と支援を行い、6月開始に向け、実力3倍UPに向け、活動している。

(3) 一般求職者・在職者

フォレストワン設立後支援を受けて就職している在職者からの相談もあり、定着や転職に向けて支援してきた。

就職3年目となると、辞めた者もあり、再就職がスムーズに行けるよう支援を行って来^た求職者には、求人情報の提供や活動の仕方、考え方など、総合的に支援してきた。

辞めた人にたいしては、職業訓練受講や、ハローワーク求人による就職支援などを行い新たな就職先を確保した。

(4) 活動報告

過去3年間就職支援に関わった人たちに、現状を理解してもらうため、前年度の事業報告を送付し、繋がりを保つようにしてきた。

約100人への事業報告、年賀状など状況を伝えている。

2 就職活動支援に係る今後の課題

(1) 一般求職者から、口コミによる相談申し込みがあり再就職支援を図った。

就活おじさんの就活塾を卒業して、働くで悩みを抱えている卒業生からの連絡には、面談して、現況を聴き、今後の在り方について話し合い支援してきた。

多くの人が今の現状に満足している訳では無く、その課題の解決へのキッカケを与えることも大切なことと感じている

(2) 学生への支援も、適切な相談者数と内容、15名を目標に取り組み、支援内容を検討して行く

会費等で運営しているが、その支援出来る人数と支出金額が少ないので、効果効率を考えた支援が何かを模索中である。今年度は塾形式で集団でのセミナー実施を試みた。

(3) 運営経費の確保

支援にさほどの経費はかからないものの、費用は必要なので、相談支援料の検討が必要となり、支出と収入のバランスをとりたい。

(4) 来年度、公民館と共催で健康で長生き講座(ルディックウォークを中心として)を実施するので、組織つくりと、運営・内容を充実させたい。

3 その他の活動

就職して数年たてば、婚活年齢になるので、婚活イベントや仲人的役割もできればと感じ、個別・団体でイベントを計画したい。

II 事業の実施に関する事項

(1)特定非営利活動法人に係る事業

平成28年4月～平成29年3月

定款の 事業名	事業内容	実施 月日	実施場所	の予定 人数	受益対象者の範囲及び実績人数					
					年齢等 学年	相談人 数	状況	件数	額 (千)	
就職活動 支援事業	求職者の就職 活動支援・相 談援助	H28 .4.01 から	NPO 会館	3人	一般	在職者	5人	働くの相 談	32	94
						若年者	2人	進路相談	2	
					学生相談人数	4年	14人	就職決定	14	
					セミナー実施		14回		45	
					PCメール等による 文書支援				340通	
					携帯メール等による 相談支援				1728通	
		電話等による 相談支援					100回			
		学生相談人数	3年		12人		96回			
		セミナー実施			16回	延べ人	104回人			
		PCメール等による 文書支援				送受信	300通			
		携帯メール等による 相談支援				送受信	1000通			
		電話等による相談支援					約200回			
職業能力 開発支援 事業	企業における 従業員教育支 援		企業	3人					0	
	る管理的、技 術的内容の職 業能力開発支 援		学校		10人	2回	20人	0		
人材確保 支援事業	企業等の求人 に係る計画・ 実施支援		企業	3人		0			0	
日常生活 及び就労 についての 相談・支 援・援助事 業	日常生活での 悩みや不安に かかる相談支 援		NPO会館	3人		0			0	
健康&生 涯現役支 援事業	講座の実施、 相談支援		NPO会館 、 公民館等	4人		0			0	
備考	就職支援は年度をまたいでのしえんとなるので、年度ごとの報告集計は難しさが有ります。 結果は4年 支援中は3年と個別での集計は煩雑になるので総計で行っている。									

平成28年度 活動計算書（28年4月1日から29年3月31日まで）

特定非営利活動法人フォレストワン

（単位：円）

科 目	金 額	
I 経常収益		
1 受取会費		
正会員受取会費	12人	60,000
賛助会員受取会費		0
		60,000
2 受取寄附金		
受取寄附金	森脇より	20,775
施設等受入評価益		0
		20,775
3 受取助成金等		
受取民間助成金		0
		0
4 事業収益		
就職活動支援事業収益		
受講料	5000×14	70,000
講師料		19,440
		89,440
5 その他収益		
受取利息		0
雑収益		0
		0
経常収益計		170,215
II 経常費用		
1 事業費		
(1) 人件費		0
給料手当		0
法定福利費		0
退職給付費用		0
福利厚生費		0
人件費計		0
(2) その他経費		
会議費		
旅費交通費	G S	18,390
通信費	携帯	48,197
貸室料		10,110
事務用品		9,515
施設等評価費用		0
減価償却費		0
支払利息		0
その他経費計		86,212
事業費計		86,212
2 管理費		
(1) 人件費		0
役員報酬		0
給料手当		0
法定福利費		0
退職給付費用		0
福利厚生費		0
人件費計		0
(2) その他経費		
会議費		
旅費交通費	G S	0
通信費	P C	48,000
事務用品		36,003
減価償却費		0
支払利息		0
その他経費計		84,003
管理費計		84,003
経常費用計		170,215
当期経常増減額		
III 経常外収益		
1 固定資産売却益		0
経常外収益計		0
IV 経常外費用		
1 過年度損益修正損		0
経常外費用計		0
税引前当期正味財産増減額		0
法人税、住民税及び事業税		0
当期正味財産増減額		0
前期繰越正味財産額		0
次期繰越正味財産額		0

※ 今年度はその他の事業を実施していません。
監査の結果、帳簿および領収書等証拠書類が、正確に
処理できていることを確認しましたので報告いたします。

平成29年 3月31日

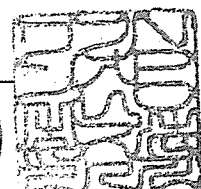
監 事

積田向平

これは、原本と相違ありません

平成29年 6月16日

特定被営利活動法人
理事長 森脇 一雄



平成28年度 貸借対照表

平成29年3月31日現在

特定非営利活動法人フォレストワン

(単位：円)

科目	金額	
I 資産の部		
1. 流動資産		
現金預金	0	
未収金	0	
流動資産合計		
2. 固定資産		
(1) 有形固定資産	0	
有形固定資産計	0	
(2) 無形固定資産	0	
無形固定資産計	0	
(3) 投資その他の資産		
敷金	0	
投資その他の資産計	0	
固定資産合計		0
資産合計		0
II 負債の部		
1. 流動負債		
未払金	0	
前受民間助成金	0	
流動負債合計		
2. 固定負債		
長期借入金	0	
退職給付引当金	0	
固定負債合計		0
負債合計		0
III 正味財産の部		
前期繰越正味財産		
当期正味財産増減額		
正味財産合計		0
負債及び正味財産合計		0

(注) 重要性が高いと判断される用途等が制約された寄附金等（対象事業等が定められた補助金等を含む）を受け入れた場合は、「III 正味財産の部」を「指定正味財産」と「一般正味財産」に区分して表示することが望ましい。表示例は以下のとおり。

- I 資産の部
 - 1 流動資産
- II 負債の部
- III 正味財産の部
 - 1 指定正味財産
 - 指定正味財産合計
 - 2 一般正味財産
 - 一般正味財産合計

様式例（法第28条第1項「前事業年度の財産目録」）

28年度 財産目録
29年3月31日現在

特定非営利活動法人フォレストワン

(単位：円)

科目	金額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	0		
流動資産合計			
2 固定資産			
(1) 有形固定資産			
什器備品	0		
有形固定資産計	0		
(2) 無形固定資産			
無形固定資産計	0		
(3) 投資その他の資産	0		
投資その他の資産計	0		
固定資産合計		0	
資産合計			
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	0		
預り金	0		
流動負債合計			
2 固定負債	0		
固定負債合計		0	
負債合計			0
正味財産			0

役員名簿

(平成 29年3月31日現在)

特定非営利活動法人フォレストワン

No.	役職名	氏名	住所又は居所	任期	報酬の有無
1	理事長	モリキ 伊藤 森脇 一雄	[Redacted]	自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日	無
2	副理事長	カシワ ボル 川島 登		自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日	無
3	理事	アキ マサル 青木 優		自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日	無
4	理事	ミヅキ カツジ 御牧 克次		自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日	無
5	監事	ヨコタ コウヘイ 横田 向平		自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日	無